

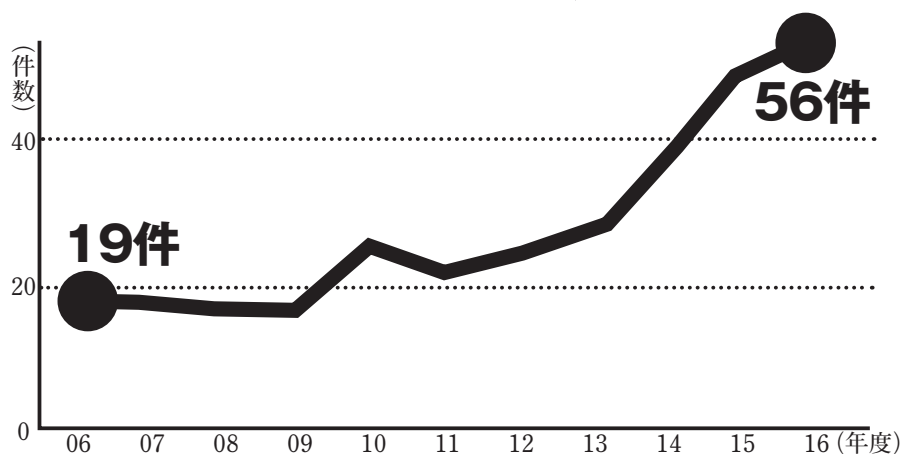
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進めることが必要です。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより→

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

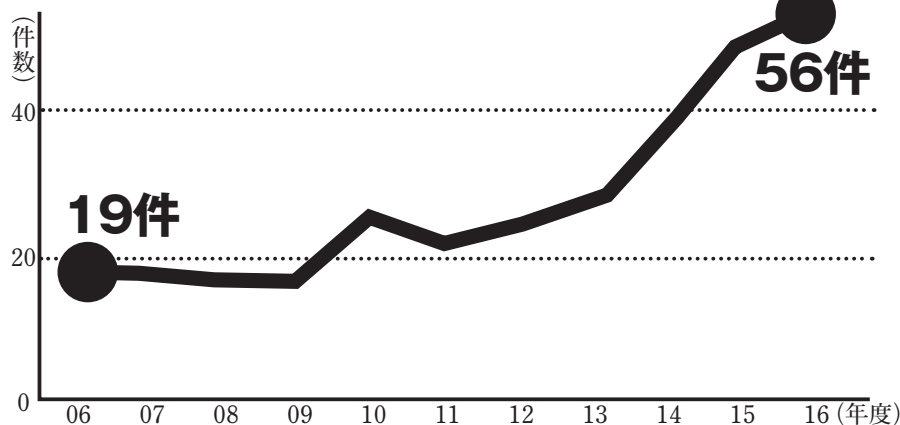
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進めることが必要です。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより
→

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

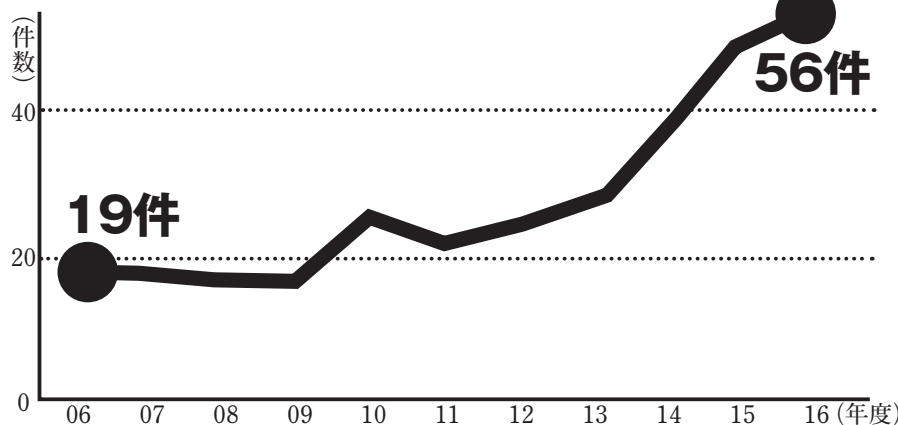
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



都議会議員（新宿区選出）
おおやま・ともこ
大山とも子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

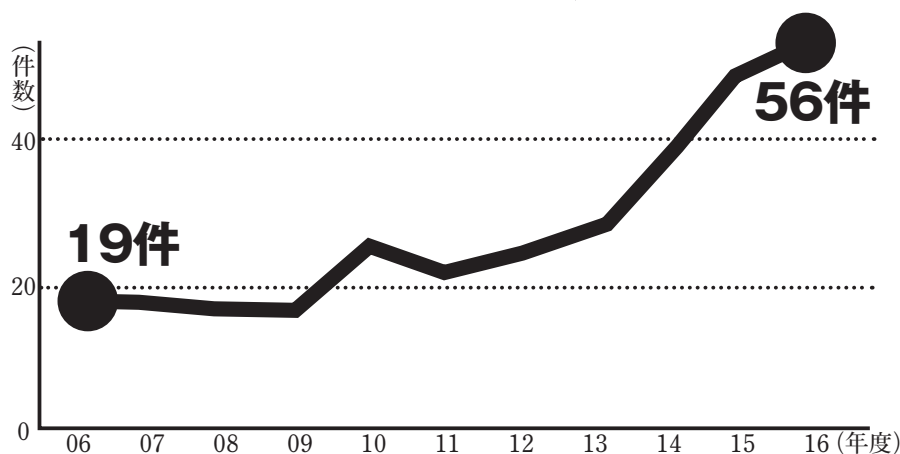
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、一度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより

都議会議員（大田区選出）



藤田りょうこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

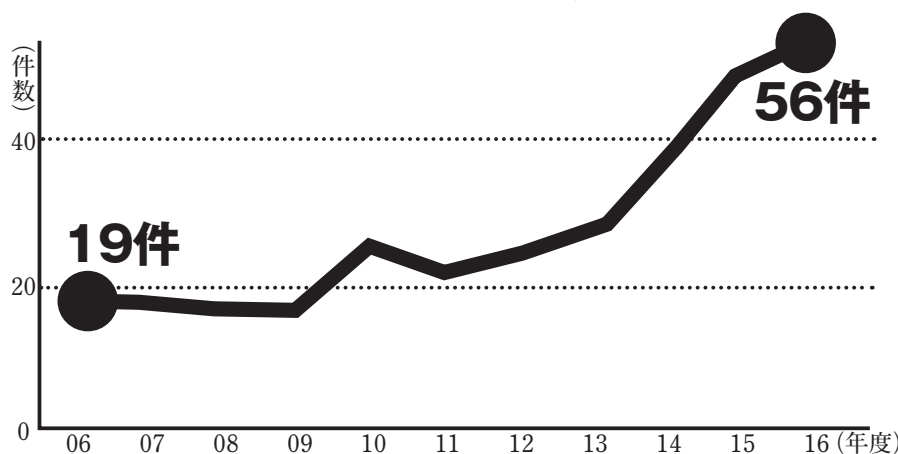
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進めることが必要です。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（品川区選出）



白石たみお

提言はHPより



日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

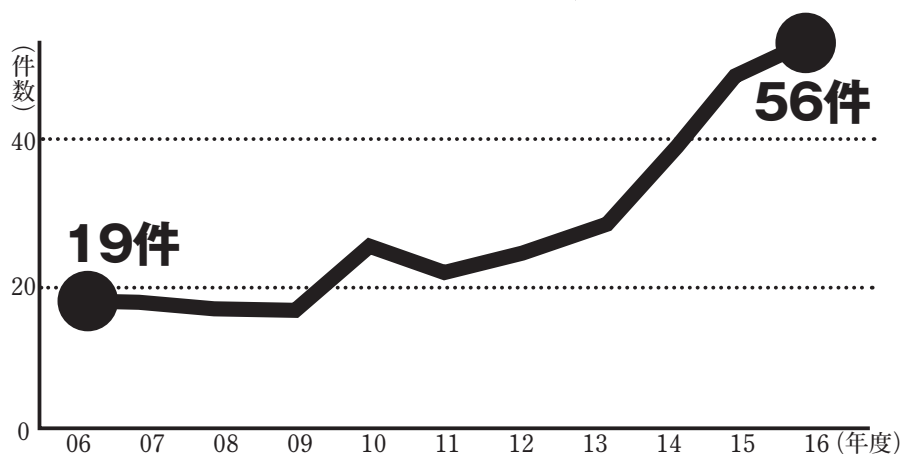
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



都議会議員（目黒区選出）

星見てい子

ほしみていこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

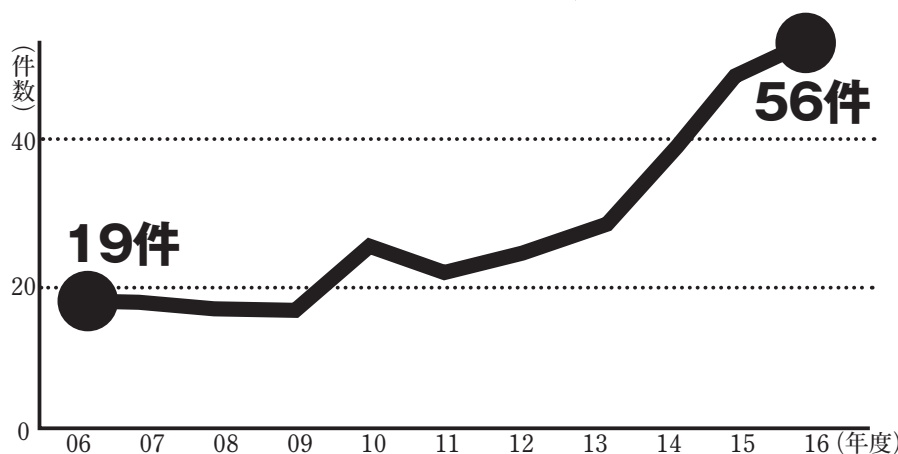
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



里吉
ゆみ

都議会議員（世田谷区選出）

さとよし・ゆみ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

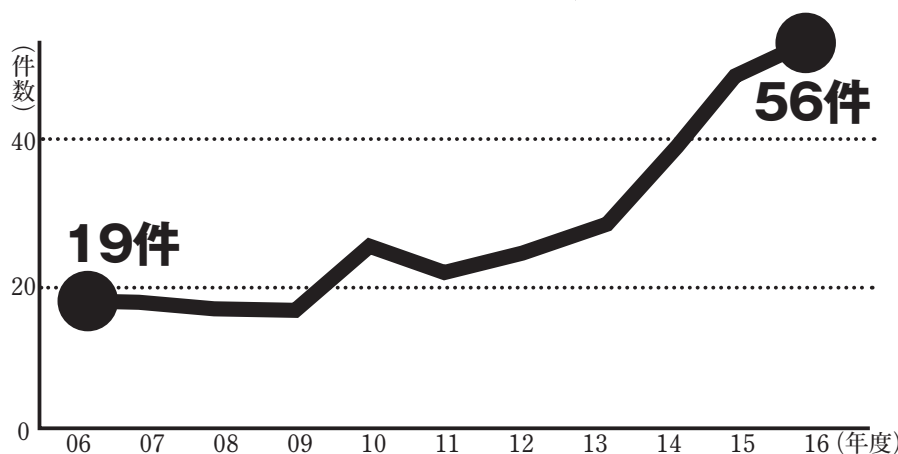
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、一度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進めることが必要です。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（杉並区選出）

はらだあきら

提言はHPより



原田あきら

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

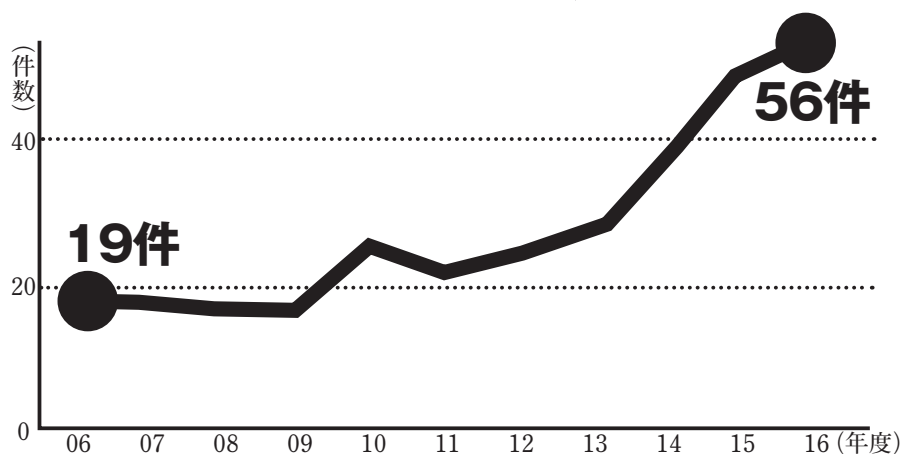
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（豊島区選出）

提言はHPより



米倉 春奈
よねくら ちはるな

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

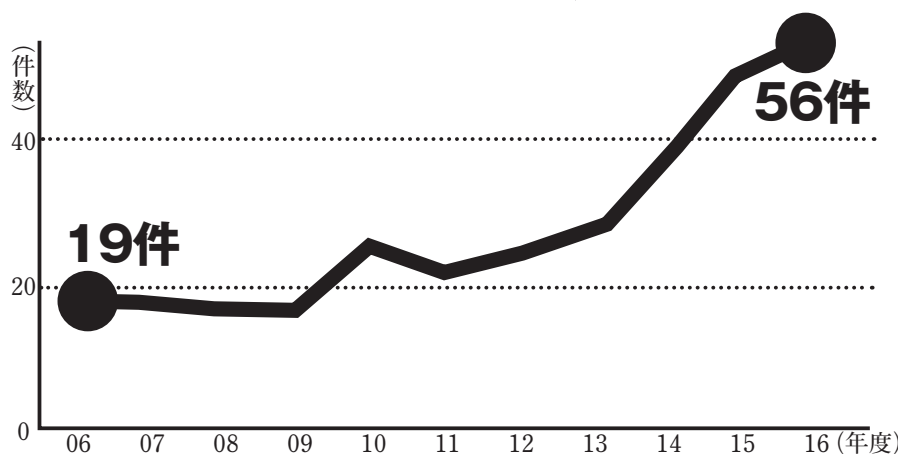
黒目
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（練馬区選出）



とや英津子

とや・えつこ

提言はHPより



日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

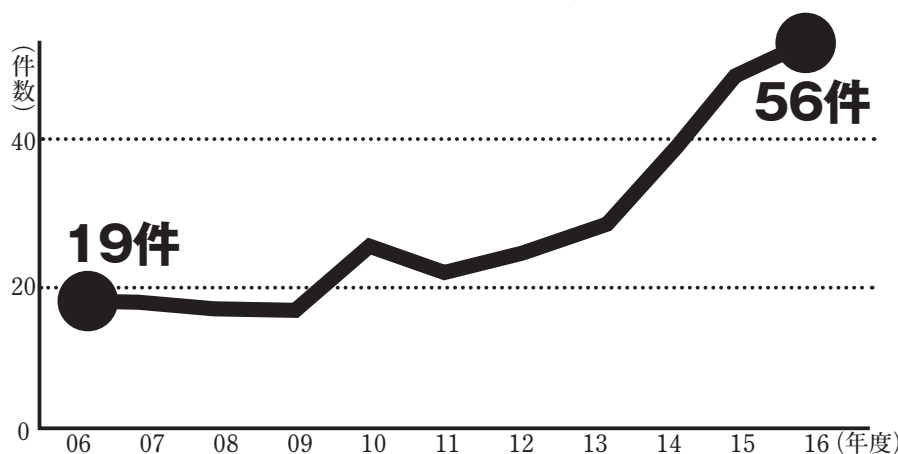
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



都議会議員（江東区選出）

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

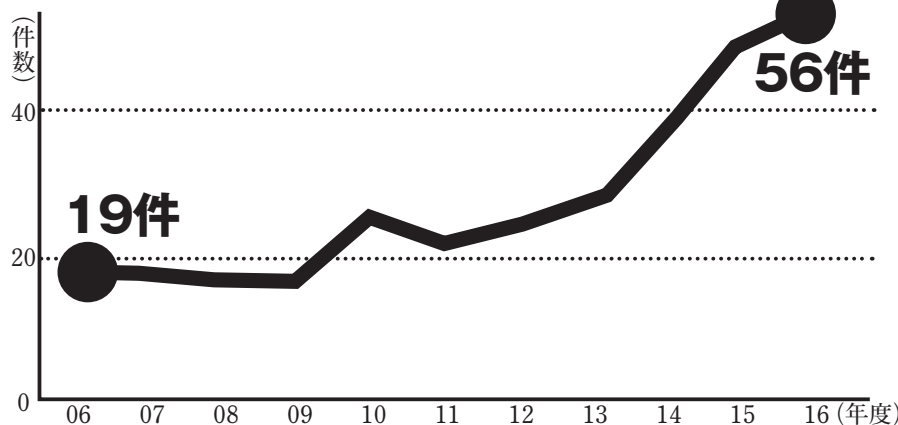
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、一度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより

都議会議員（板橋区選出）

とくとめ・みちのち



とくとめ道信

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

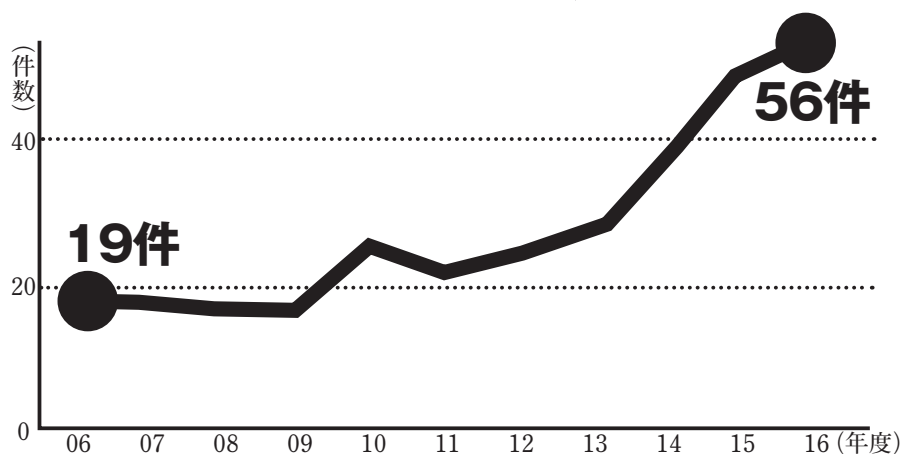
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（北区選出）

提言は
HPより→



そね はじめ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

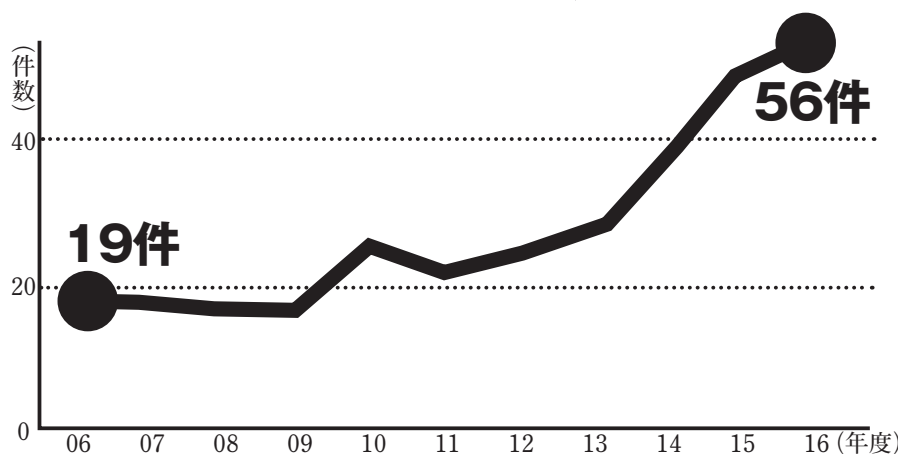
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言はHPより



都議会議員（足立区選出）

斉藤 まりこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

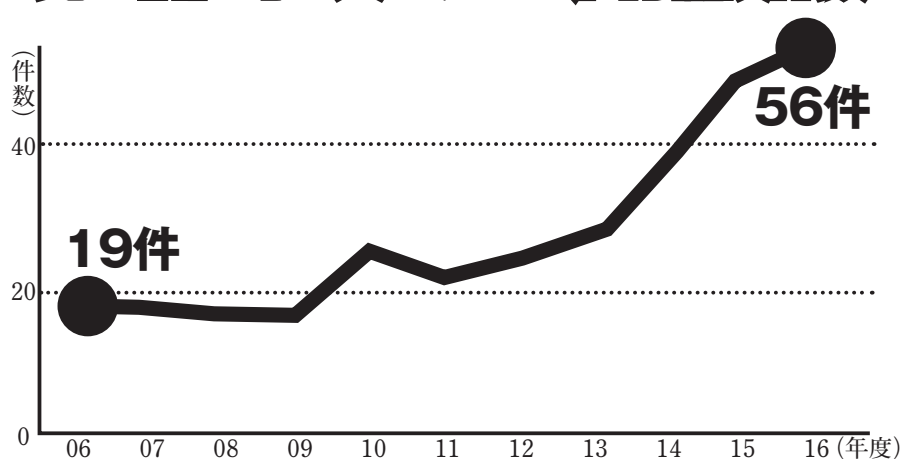
目黒
女児虐待
死亡事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（葛飾区選出）

いずみなおみ

提言はHPより



和泉なおみ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

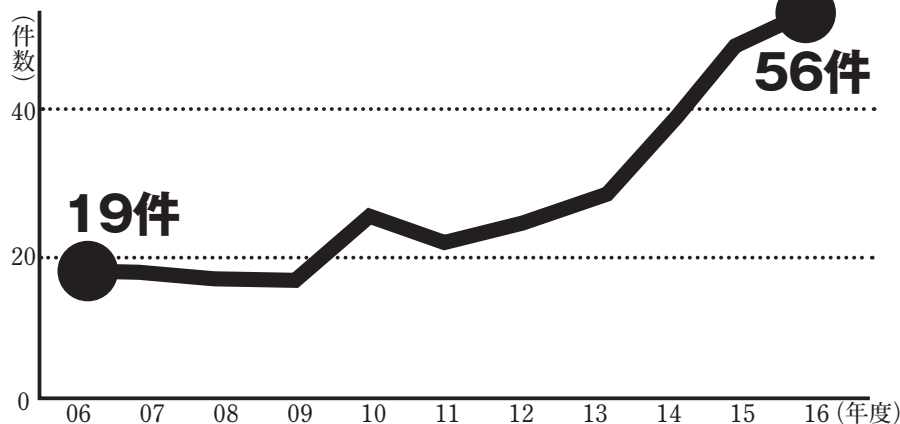
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（江戸川区選出）



河野 ゆりえ

提言はHPより



日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

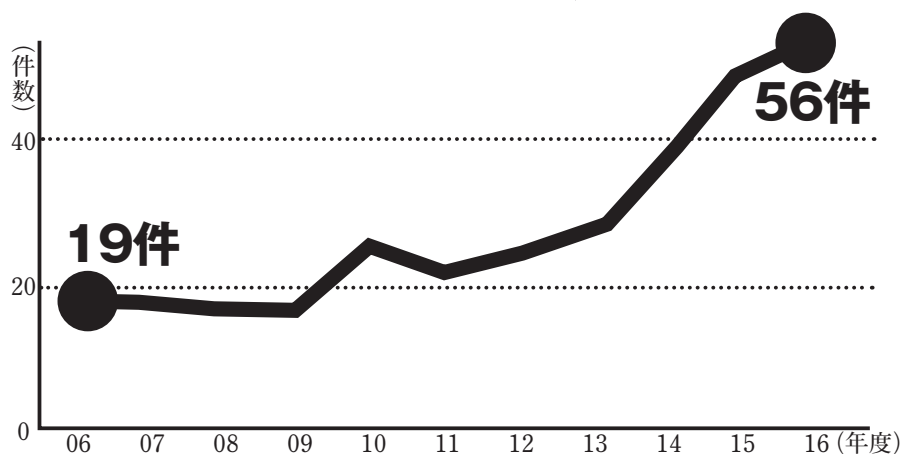
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（八王子市選出）



清水ひでこ

提言はHPより



日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

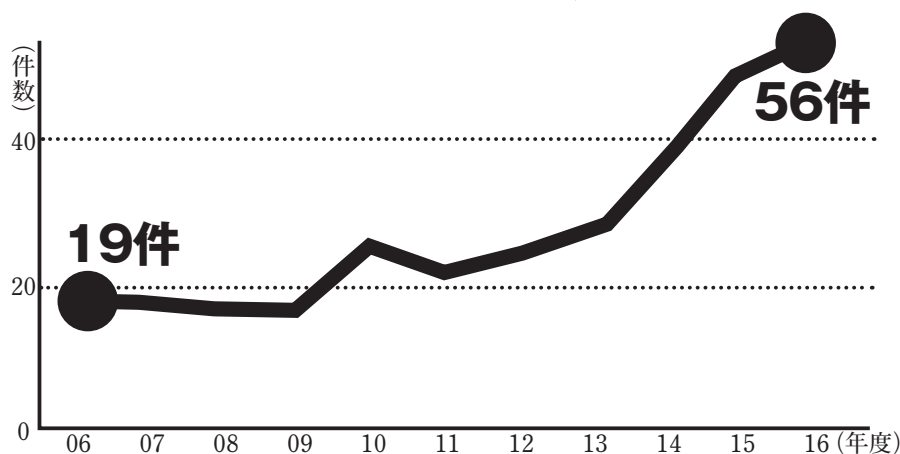
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**上グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



尾崎あや子

都議会議員（北多摩1区選出）

おぎきあやこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

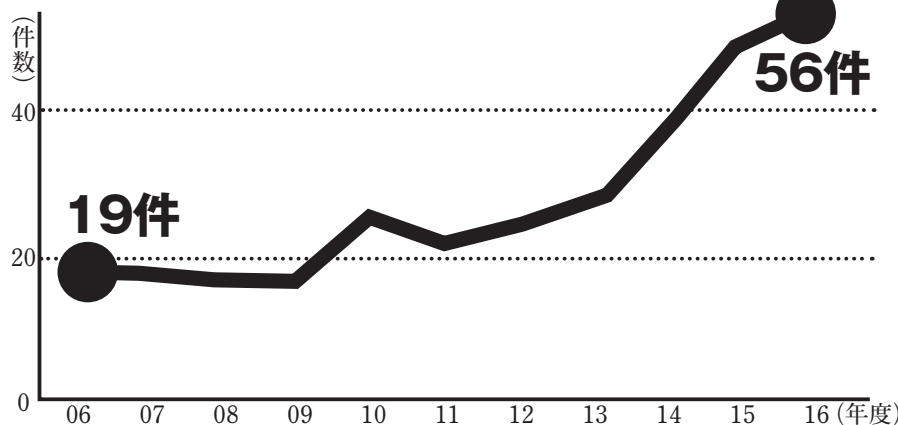
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、一度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。



提言は
HPより



原
の
り
子

都議会議員（北多摩4区選出）
はらのりこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

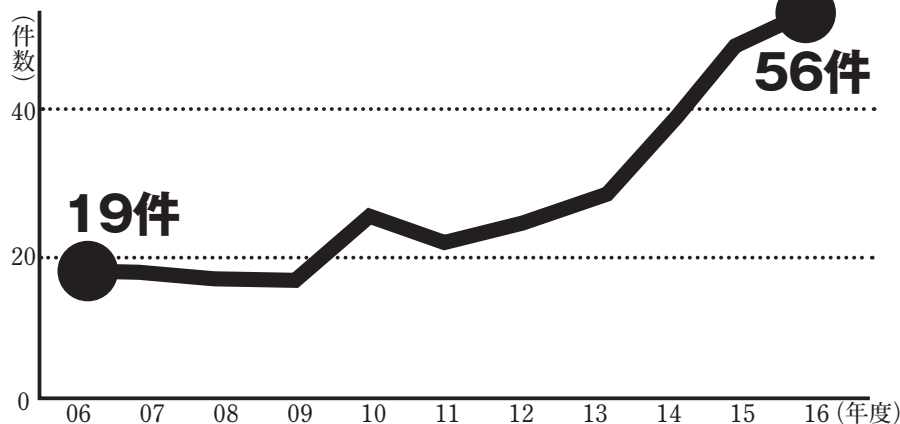
目黒
虐待
児童
死亡
事件

児童相談所の体制強化を

共産党都議団が 虐待防止対策求める

目黒区で5歳の女の子が虐待を受けた末、亡くなった事件は社会に大きな衝撃を与えました。日本共産党東京都議団は6月19日、都議会代表質問で、二度と事件を繰り返さないために、児童虐待防止の総合対策を小池百合子都知事に求めました。

児童福祉司一人あたりの虐待相談件数



都内では、痛ましい児童虐待事件が相次いでいます。解決へ早期発見・早期対応の促進、相談支援体制の強化、社会的養護の拡充、子育て家庭の孤立と貧困の打開をはじめとした予防対策などの、総合的な対策を進める必要があります。

同時にカギとなるのが、児童相談所の体制強化。この間、児童福祉司などは増えていますが、虐待相談件数の増加に追いついていません。そのため、児童福祉司一人あたりの相談件数は最近10年間で、19件から56件に急増（**グラフ参照**）。共産党都議団は十分な人数と専門性や経験が求められる児童福祉司などの数が足りない問題を指摘し、増員と専門性の確保を求めました。

「体制強化図る」

——知事が答弁

これに対し小池知事は児童福祉司などの増員、専門性の確保など「児童相談所の体制強化を図っていく」と答えました。

子どもを守る都政へ全力

痛ましい事件に本当に心が痛みます。二度と繰り返さないために政治が全力をあげることが必要です。日本共産党都議団は「児童虐待ゼロ」の提言をしています。その実現に全力をあげます。

都議会議員（町田市選出）

提言はHPより



池川

友一

いけがわ ゆういち

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可